



- ① :石川安久
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーを始め、お手伝いを始めてから。
- ④ :審判を始めた時期、サッカー経験があったのにジャッジが全くできず、そこから勉強するようになった。
- ⑤ :自分のジャッジで選手が楽しくプレーできる場を作れることが嬉しいです。



- ① :近藤崇
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーをやっていたため(自身はプレーヤー継続中)
- ④ :コーナーキックのボールが自分の背中に当たったこと。
- ⑤ :勝っても負けても涙を観れる子供たちのサッカーからは離れられません！



- ① :野坂慶一
- ② :27年
- ③ :子供の帯同審判から
- ④ :決定的な得点機会の阻止の場面(ゴールエリア内のハンド)で対応できなかったこと
- ⑤ :サッカーと審判が好き

2017年度第2回関東フットサル審判員研修会レポート

2017年11月3日(金)～5日(日)に神奈川県で開催された第2回関東フットサル審判研修会に参加された室田智広氏及び木村拓氏よりレポートを寄稿いただきました。

● 室田智広氏レポート

平成29年11月3日(金)～5日(日)の間に神奈川県立体育センタースポーツアリーナで行われた、第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会の審判員を対象とした、2017年度第2回関東フットサル審判研修会に参加した事をレポートします。

参加チーム男子は各都県出場枠8チームに加え開催地枠(神奈川県)、前回優勝枠(千葉県)、及び前年度大会登録枠(東京都32、千葉県24)の計12チーム、女子は各都県出場枠8チームにて行いました。各チームとも県予選を勝ち上がった強豪ばかりで、全国大会につながる関東の1枠を争う白熱した試合が展開しました。

参加審判員は各都県から2名参加し、2級昇格後2年以内及び、2級昇格を目指す3級審判員が参加しました。各参加者とも、都県を代表して参加しているので大変意識も高く、質の高い講習会となりました。

3日(金)の初日、午前中は全体ガイダンス終了後に地元神奈川県サッカー協会フットサル部の皆さんと大会用のコート作りを実施後、レフェリー実技講習を関東フットサルビーチサッカー協会強化育成部長松井隆氏のもと行いました。実技講習はほとんどが初対面の審判員なので、声を使わずに生年月日を伝え合う等のアイスブレイクから始まり、動きを伴ったウォーミングアップを実施後、フリーキック時の壁の距離コントロールを重点的に行いました。審判員がピッチ内に侵入せずに壁の距離をコントロールする方法や、笛の音の強弱で審判員の意思を選手に伝える方法などは大変勉強になりました。

午後からはセッション1として競技規則テストを実施後、セッション2として映像を見ながら、正しいプレーか反則のプレーかを見極める、考え方について松井氏から講義を受けました。講義の中でも特に印象に残っている言葉が「ファウルかどうかをみるのではなく、そのプレーが正しいかどうかを見極める」というものでした。具体的にはボール保持者に対して守備側競技者のチャレンジの仕方について、

『プレーのタイミング』『プレーの方法』『プレーの方向』『プレーの強さ』『チャレンジするための距離』

の5つの項目を当てはめて、プレーが正しいかを判断してゆくという内容で、上記の5つの項目の中からひとつでも、正しくないチャレンジがあれば反則になるという内容でした。

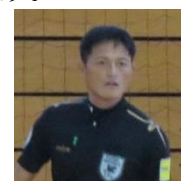
これまで私は、反則を見極める際に、これまでのサッカー経験や雰囲気で見極めていたが、今後は上記の見極めも考慮に入れて反則を見極めていけたらと思います。

講習会2日目と3日目は、第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会の審判を実施して、その都度複数のインストラクターの方から指導を受けました。最終日、私は男子決勝の主審を任されました。決勝戦というとても緊張感のある試合の主審として、抜擢していただき大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いで主審を行いました。対戦カードは、ルキナス印西ブルーvsクラッキス松戸アマレイロの千葉勢対決で、千葉県予選の決勝も私が担当した因縁の対戦となりました。結果は県予選の屈辱を果しクラッキス松戸アマレイロの勝利となりました。

審判を実施した、2日間を通して、競技者の手による反則の見極めや、ゲームのスムーズな進行など私の審判員としての課題は山積みなので、今後は県内及び関東の審判活動でひとつずつ克服していきたいと思っています。

最後に、今講習会の3日間で関東フットサルレフェリーと接する事により仲間意識が強くなったことや、私のレフェリングに対してインストラクターの皆さんからの指導は勉強になり、大変有意義な3日目を過ごすことができました。

今後、今講習会で学んだことを県内の審判員に還元できるように審判活動に励んでいきたいと思っています。



フットサル2級審判員 室田 智広

● 木村拓氏レポート

この度は第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会の関東大会に審判員として参加させて頂きました。期日は2017年11月3、4、5日、2泊3日で神奈川県立体育センタースポーツアリーナにて行われました。

それぞれの日程は、3日の初日、神奈川県立体育センタースポーツアリーナに集合しての顔合わせから、4日から開始される大会のためのピッチ作成及び審判員同士での交流や基本的事項の確認などを行いました。その後は競技規則テスト、解説があり、さらに座学を行って初日の講義は終了、ホテルに移動し参加者にて夕食を共にしました。

2日目の4日は朝に軽いウォームアップと当日の割り当て確認があり、スポーツアリーナに移動してよいよ大会が始まり、各人が主審、第2審判、第3審判、タイムキーパーと合計4試合の予選リーグの割り当てを頂き、誠心誠意務めました。各試合後には反省会が行われ、インストラクターの方からの技術指導がございました。そして日程を終了させたのち宿舎に移動し2日目終了となりました。

最終日の5日は研修参加者皆でスポーツアリーナに移動し、ついに試合は佳境を迎え、決勝トーナメントとなりました。個人的には男子準決勝の第2審判の割り当てを頂き、この試合もまた誠心誠意務めさせて頂きました。全試合の日程が無事終了し、最後に総括を終えて帰宅となりました。

初日の詳細としまして、まずピッチ作成ですが、千葉県のフットサルレフェリーは日頃より鍛えられておりますので問題なく行えました。ですがペナルティーエリアを引くためのペナルティラインの始点がどこかなど、細かいところでのポイントなども知ることができ、さらに理解を深めることができました。審判同士の交流では、まず2チームに分かれ、まだ名前も顔も知らない相手に言葉やジェスチャーを用いずに名前のあいさつお順に並ぶことや、誕生日順に並ぶことを競いました。自チームは足踏みの音の回数などでなんとか成功させましたが、アイコンタクトを使って右目は苗字、左目は名前、というような工夫もあるようで面白かったです。基本的事項の確認及び技術指導では、主に4秒のカウントの正確な感覚や数え始めのタイミングなどを確認しました。また、ファウルが起きてからの相手競技者(壁と呼ばれますね)の5メートルの下げ方などが指導されました。壁の下げ方は個人的にもまだまだ改善の余地ありだと感じました。素早く正確にストレスなく行えることは、選手にとっても観客にとっても気持ちの良いものだと思います。

その後は研修室にて競技規則テスト、そのテストの解説、競技規則に関する座学が行われました。個人的にはさらなる勉強が必要であると常日頃感じております。さらには映像を用いての状況把握及び判定の見極めを行いました。その行為がそもそもファウルなのか、警告なのか、退場なのか、感覚で判断していたものでも言葉に直し競技規則に当てはめて考えてみるとおのずと答えが出てくるものもあり、映像から事象を言葉に直し、競技規則になぞらえて判断することの重要性を再確認しました。

その後宿舎に移動し皆で夕食を共にしました。15人ほどおりましたが、様々な職種、年齢、色々な方がいる中で皆さん審判が好きな事が伝わり、面白く感じました。

2日目及び3日目はまずは試合を行い、実際の試合による映像やインストラクターの方々からのお言葉による反省会が主となりました。個人的に普段からあまり緊張はしない方なので普段通りできたことが多いとは思いますが、まだまだ技術的には足りないことばかりですのでこれからの審判活動の中で修正、向上していければと思っています。

余談ですが男子決勝戦は千葉県のクラッキス松戸アマレイロとルキナス印西ブルーの対決で、主審は千葉2級の室田さんでした。千葉県の仲間としてとても誇らしく思います。

今回の関東研修会参加にあたり、千葉県サッカー協会の方々、関東サッカー協会の方々、神奈川サッカー協会の方々、大会関係者の皆様に多大なるご配慮を頂きまして恐縮の至りですが、参加させて頂いたことに心より感謝申し上げます。この経験を活かしさらなる向上を目指し、鋭意努力して参る所存でございます。

フットサル2級審判員 木村 拓

昇級おめでとうございます

次の皆様が“憧れのワッペン”を手になされました。おめでとうございます。一層のご活躍を期待しております。

サッカー女子1級	上田 千尋氏
サッカー2級	天野 喜章氏
フットサル2級	木村 拓氏
サッカー3級	石川 力斗氏、石塚 奈保氏、岩田 賢二氏、梅原 力氏、江田 優太氏、大内 昂氏、川上 達也氏、桐生 誠氏、寺井 隆氏、平山 美幸氏、吉田 宏樹氏、吉満 修二氏、米田 卓也氏
フットサル3級	井村 洋和氏、井元 貴規氏、小倉 敬右氏、小林 智氏

昇級者の皆様の中より以下寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

● 天野 喜章氏(サッカー2級)

千葉県の皆様、この度、2級昇級審査に合格しました、天野喜章です。2016年は不合格、2年越しの合格となり喜びもひとしおです。

山岸委員長をはじめ、審判委員会役員の皆様が、ご一緒した審判員の皆様が、私を応援して下さい、ご指導下さったお陰です。本当にありがとうございました。

審判が楽しくてしかたない、もっともっと上手になりたい！

千葉県のサッカー、審判委員会、審判員の皆様は、そんな気持ちにさせてくれました。

そんな皆様に、46歳の私がどれだけ恩返し出来るか、お役にたてるかわかりませんが、これからも頑張っていきますので、どうぞよろしく願いいたします。



プロフェッショナルレフェリーの家本氏(右側)と筆者

● 木村 拓氏(フットサル2級)

皆様、こんにちは。流山市在住の木村拓と申します。流山市は千葉県の中では端のほうにあり、千葉県のフットサル会場は千葉市方面や館山などで開催することが多かったので初めのうちは移動に少し時間がかかりましたが、最近は慣れてきてか小旅行のように楽しめるようになっております。また、徐々に使用できる体育館も増えてきており、フットサルに対する見方も変わってきているのでは、と感じております。先日は地元の流山の体育館でU-15の大会なども行われ、個人的ですが自転車で移動できるという嬉しい体験もできました。

さて、今年は自身にとって大きな転機となり、フットサル2級試験に合格することができました。4月に県内での予備試験が体力、筆記と行われ、それに合格したのち今度は実際の試合の見極めが行われま

